



# 研究ニュース No.15

研究全般に関わる情報を定期的に配信いたします。



学生向け



大学院生向け



教員・研究員向け

発行日：2024年10月1日  
発行者：フロンティア研究推進機構事務室  
〒658-8501  
神戸市東灘区岡本 8-9-1  
(岡本キャンパス 12号館 6階)  
電話 078-435-2559/2754  
メール konanfront@adm.konan-u.ac.jp



## 総合研究所 大学院生研究助成の採択者が決まりました

総合研究所が今年度から募集を再開した「大学院生研究助成」に4名の応募がありました。

(修士課程3名、博士課程1名。いずれもフロンティアサイエンス研究科所属)

応募書類に基づき書類審査が行われた結果、フロンティアサイエンス研究科博士課程1年次の山田詢介さんが採択者となりました。山田さんには研究費として、75万円が助成されます。

山田さんの研究内容は、「これまで単体金属（銅、ニッケルにのみ適用されてきたSED法に対し、2種以上の金属イオンが同時に反応する多成分系イオン輸送プロセスを平衡論・速度論的に記述し、金属イオンと膜のイオン交換基間の相互作用が、電解質膜におけるイオン拡散および輸送選択性に与える影響を解明することを目的として研究を進める。」となっており、高い研究成果が期待されます。

本研究助成制度は、来年度も募集を行う予定です。大学院生の多数の応募をお願いします。



## 大学院生向け研修会 研究助成「日本学術振興会特別研究員制度」制度の紹介と申請について(ご案内)

研究助成制度のうち、大学院生が申請可能な制度の代表的なものとして「日本学術振興会特別研究員制度」があります。同制度は、博士課程在学中の3年間支援を受けられるDC1区分への申請の場合、修士課程2年次早々に申請書を作成・提出する必要があり、また、DC2区分への申請でも、2年間の支援を受けることを希望する場合は、博士課程入学後間もない時期に申請書を作成・提出することとなります。

もちろん、博士課程在学生の申請は可能ですが、同制度の最大限の支援を受けるためには、修士課程在学中に同制度への申請準備を始める必要があります。また、少しでも長い準備期間を設けることで、採用の可能性を高めることや、修士課程在学中の研究活動の充実化が期待できます。

この制度では、**月20万円の研究奨励金を得ることが可能**で、優秀な修士課程在学者が、学費や生活費といった金銭面で、博士課程への進学を断念するといったことを軽減できる可能性があります。さらには、この申請と同時に、科学研究費助成事業「特別研究員奨励費」への申請を行うことで、通常、**1年につき80万円までの研究費を得ることが可能**となり、研究環境を向上させることが期待できます。

令和7(2025)年度採用分

募集要項  
https://www.jpsr.jp/19492\_110.html

### 特別研究員-DC1・DC2募集

優れた若手研究者が自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念できる環境を整備するため、「特別研究員」を採用し、研究奨励金を支給します。

**申請資格**  
採用開始時(2025年4月1日現在)に、我が国の大学院博士課程に在学する者(申請時は見込みでも可)

**採用期間**  
＜DC1＞  
2025年4月1日～2028年3月31日(3年間)  
＜DC2＞  
2025年4月1日～2027年3月31日(2年間)

**研究奨励金**  
月額 201,000円  
※2025年度の支給予定額。研究奨励金の額については変更することがあります。

**申請方法**  
「研究費助成事業電子申請システム」(4月中旬個人ログイン)を利用して申請書を作成し、申請機関を通じて申請書を出します。申請者は予め申請機関にお問い合わせの上、電子申請システムのID・パスワードを取得してください。  
※申請機関は採用時の受入研究機関です。ただし、DC1の申請機関は、現在所属している大学専任研究機関です。

Japan Society for the Promotion of Science  
日本学術振興会

独立行政法人 日本学術振興会  
〒100-8602 東京都千代田区千代田 1-1-1  
電話 03(326)10070

同制度の紹介と申請のポイントとなる事項をまとめたオンラインコンテンツによる研修会を実施しますので、奮ってご参加ください！

対象者：大学院修士課程・博士課程在学者

研修方法：オンデマンド方式

別途、MyKONANにオンラインコンテンツ（動画）へのリンク、受講アンケートへのリンクを掲載します。



### 「研究年報 2023」を発行しました

研究年報は各年度の研究活動報告をとりまとめたもので、甲南大学における研究に関する表彰・アワードの他、各教員の研究テーマ、研究業績（著書、論文他）、研究推進組織体制、研究所の活動等を掲載しております。



画像をクリックするとW E B版を確認できます



### 「甲南大学 研究シーズ集 2024」を発行しました

新世紀戦略研究プロジェクト(第1期)の紹介と本学教員の研究テーマ毎の研究概要や特徴、成果などをコンパクトにまとめました。企業・他大学・公的機関等に活用されるきっかけとなることを目的とし、甲南大学研究シーズ集を作成しています。研究者の皆様におかれましては、産学官連携活動を積極的に推進するため是非とも投稿してください。



画像をクリックするとW E B版を確認できます

## 総合研究所研究奨励助成金の募集について ※2025 年度分

総合研究所では、以下の研究奨励助成金の募集をします。

### 《総合研究所研究奨励助成金（共同研究）》

【助成の対象】学際的または分野融合的な研究分野

※当研究所は社会的ニーズに基づく「地域」、「健康」、「教育」に関連する研究を重点課題と位置付けています。

【対象分野】人文・社会科学系分野及び自然科学分野

【申請期間】2024 年 11 月 5 日（火）～ 2024 年 12 月 6 日（金）17 時 ※時間厳守

【募集要項・申請書等】

募集要項をご確認の上、申請書に必要事項を記入し、総合研究所（[souken@ml.konan-u.ac.jp](mailto:souken@ml.konan-u.ac.jp)）に提出してください。

【助成の申請上限】200 万円/年

【審査項目】

研究課題の重要性・妥当性、研究計画・方法の妥当性、研究課題の波及効果及び普遍性、他の助成研究課題との関係（新規性）、研究遂行能力（各研究者の役割を含む）、研究経費の妥当性

### 《総合研究所研究奨励助成金（個人研究）》

【助成の対象】学際的または分野融合的な研究分野

※2025 年度科学研究費助成事業において不採択かつ「A 判定」と評価された者で、本助成事業に採択された場合、2026 年度又は 2027 年度科学研究費助成事業に必ず応募する者

【対象分野】人文・社会科学系分野及び自然科学分野

【申請期間】2025 年 2 月 26 日（水）～ 2025 年 4 月 18 日（金）17 時 ※時間厳守

【募集要項・申請書等】

募集要項をご確認の上、申請書ならびに 2025 年度科学研究費助成事業に応募した様式も合わせて総合研究所（[souken@ml.konan-u.ac.jp](mailto:souken@ml.konan-u.ac.jp)）に提出してください。

※「A 判定」と評価されたことがわかる書類は通知後、すみやかに総合研究所に提出してください。

【助成の申請上限】100 万円/年

【審査項目】

研究課題の重要性・妥当性、研究計画・方法の妥当性、研究課題の波及効果及び普遍性、他の助成研究課題との関係（新規性）、研究遂行能力（各研究者の役割を含む）、研究経費の妥当性

## 《立野純三研究奨励助成・甲南学園平生記念人文・社会科学研究奨励助成》※2025 年度分

### 【申請者の要件】

原則として、甲南大学専任教員（本学専任教員を代表者とする共同研究グループも可）とします。

### 【対象分野】人文・社会科学系分野

【申請期間】2024 年 11 月 5 日（火）～ 2024 年 12 月 6 日（金）17 時 ※時間厳守

### 【募集要項・申請書等】

募集要項をご確認の上、申請書に必要事項を記入し、総合研究所（[souken@ml.konan-u.ac.jp](mailto:souken@ml.konan-u.ac.jp)）に提出してください。

【各助成の申請上限】100 万円/年

### 【審査項目】

研究課題の重要性・妥当性、研究計画・方法の妥当性、研究課題の波及効果及び普遍性、他の助成研究課題との関係（新規性）、研究遂行能力（各研究者の役割を含む）、研究経費の妥当性



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】卒業生の佐藤夕希さん、太田茜 特任研究准教授らが「植物と動物に共通する高温耐性の遺伝子」を PNAS nexus 誌に発表しました

[（詳細はこちら）](#)



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】修士課程の森 雪永さんが The Future of Nematode Research 2024 でベストポスター発表賞を受賞しました！

[（詳細はこちら）](#)



【フロンティアサイエンス研究科】中田実紀さん(修士課程修了生)の研究成果が ACS Omega で刊行されジャーナルカバーに採択されました

[（詳細はこちら）](#)



【フロンティアサイエンス研究科】鶴田充希さん(修士課程)が第 34 回バイオ・高分子シンポジウムにて学生優秀ポスター賞を受賞しました！

[（詳細はこちら）](#)



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】久原 篤教授がノーリツぬくもり財団の研究助成に採択されました

[（詳細はこちら）](#)



【フロンティアサイエンス学部】三好教授と川内准教授が「大学見本市 2024～イノベーション・ジャパン」に出展しました

([詳細はこちら](#))



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】太田茜 特任研究准教授、久原教授らの動植物に共通する高温耐性の遺伝子の発見が新聞や web メディアで紹介されました

([詳細はこちら](#))



【知能情報学部】「国際フロンティア産業メッセ 2024」に出展しました

([詳細はこちら](#))



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】久原篤 教授の研究が日本医療研究開発機構 (AMED)の革新的先端研究開発支援事業 (PRIME) に採択されました

([詳細はこちら](#))



【理工学部】機能分子化学科 茶山教授と岩月教授が「MOBIO Cafe」にて発表しました

([詳細はこちら](#))



「知財ワン・ツー・スリー！プロジェクト」のオンデマンドコンテンツを公開しました

フロンティア研究推進機構は、「知的財産」に関する知識・能力（知財スキル）を身につけた人材育成プロジェクトをスタートさせました。

学生のみなさんが在学中に「知財スキル」を身につけるためのサポートとして、「知財ワン！ツー！スリー！プロジェクト」を実施し、知財スキルの修得をサポートするほか、特許申請手続きを伴走支援します。

学生の皆さんにはぜひ参加ください。（先生方は、学生の皆さんへご案内ください。）

＜ワン・ツー・スリー！プロジェクトの詳細とオンデマンドコンテンツは[こちら](#)>

**知財スキルを持つ人材が社会で活躍しています！**

「知財スキル」とは、特許を含む「知的財産」に関する知識・能力のことです。みなさんが在学中にこのスキルを身につけることには、多くのメリットがあります。就職先では「企業で期待されている学び、特許修得も経験した」といえることをぜひ「強み」にしてください。

- キャリアの強化  
知財に関する知識とスキルは、多くの企業において貴重とされます。  
(例に、IT業界、製造業、バイオテクノロジー、ファッション・デザイン、出版業、エンターテインメント、食品・飲料、建設・不動産、クリエイティブ産業、出版、音楽、文学、アート・ゲームなど)。(法務事務所等)
- 起業・スタートアップ  
自分でビジネスを立ち上げる際に、特許権・商標権・著作権の取得方法を学んでいれば、ビジネスを守り、優位に立つことができます。
- 研究成果の保護  
研究で生まれた自分の成果を保護し、商業化するための準備ができます。
- 経済的利益  
ライセンス料やロイヤリティ収入を得られる可能性があります。
- リスク回避と国際対応  
買収せず自らの権利保護を怠らないよう、リスク回避ができます。  
また、知財権は世界中に存在しており国際的なビジネスでも必須です。

**大学が特許取得を全面的にサポートします！**

在学生のみなさんが「知財スキル」を身につけるサポートとして、「知財ワン！ツー！スリー！プロジェクト」を実施しています。ひらいた学びたいを無理に、特許修得もサポートします！

STEP 1  
オリジナルオンデマンドコンテンツを視聴し、知的財産権や特許制度に関する知識を修得しましょう。  
※動画は、いつでもどこでも好きなときに視聴が可能です。

STEP 2  
2年次配属の「キャリア実践生共修科目」を受講し、特許に関する知識を深めてください。  
STEP1-2で知識を修得し、STEP3にチャレンジしましょう！

STEP 3  
特許出願を体験してみましょう！！  
アイデアをまとめる、出願書類の作成は専門家が全面的にサポートします。出願にかかる費用は自費負担となります。  
※出願には必ず専攻分野の専攻科長に事前承認を仰ぐ必要があります。



### 「研究ニュース」についてのご意見・ご感想

「研究ニュース」をより良いものにするため、みなさまからのご意見やご感想をお待ちしています。  
([sangaku@ml.konan-u.ac.jp](mailto:sangaku@ml.konan-u.ac.jp)) までメールにてお寄せください。



### 情報提供のお願い（論文発表・学会発表 等）

論文発表、学会発表などをされた場合は、フロンティア研究推進機構事務室に概要をお知らせいただきますようお願いいたします。（[sangaku@ml.konan-u.ac.jp](mailto:sangaku@ml.konan-u.ac.jp)）教員のみなさまには、大学情報データベースへの記録もお願いいたします。HP・研究ニュースなどを通じて、情報発信させていただきます。

また番組への出演、新聞・雑誌等記事等へのコメントなどについても情報提供いただけますと幸いです。